

株式会社 アースクリエイト

所在地
事業内容

大阪府中央区本町 1-5-6 大阪山甚ビル 7F
高純度の炭酸カルシウムを主原料として利用したマスターバッチ製造業

T E L

06-6266-0177

環境にやさしい新素材開発で地球温暖化防止に貢献

燃焼時の有毒ガス発生を抑制する中和剤として利用できる炭酸カルシウムを主原料とした製品は、従来の樹脂製品と比較して LCA ベースで大幅に燃焼時の二酸化炭素を削減でき、地球温暖化防止に貢献。SDGs の実践と推進を目指している。

沿革

◆ 起業に至る経緯

代表取締役である西宮祥行氏は、商社勤務時代に知り合った関西の放送作家夫妻が運営していたスクールの譲渡を受け起業。株式会社アースクリエイトを設立した。

地球温暖化防止に貢献するという「環境」に共感をした産官学各界の重鎮が役員・顧問に参画。大阪大学教授高分子工学専攻宇山浩氏を役員に迎え、国産高純度の炭酸カルシウムを主原料とした樹脂複合材料「Stone-Sheet®」を開発した。

各種プラスチック製品に替わる環境にやさしい新素材製品として、平成 28 年春より大丸松坂屋百貨店の食品用保冷包装紙として全店に供給を開始。JFR Web サイト「環境にやさしいライフスタイルの提案」として掲載されている。あわせて、イオンへ各種服飾資材、各種農業用資材として供給を始めている。

燃焼時に発生する有毒ガスを抑制する中和剤として利用できる炭酸カルシウムを主原料とした製品は、従来の樹脂製品と比較して LCA ベースで大幅に燃焼時の二酸化炭素を削減できる。こうして、地球温暖化防止に貢献することにより SDGs の実践と推進を目指している。

【STONE-SHEET】

有毒ガスの発生を中和剤として利用：産業廃棄物扱いにならない
有機物である樹脂含有量の低減：CO2の削減、地球温暖化防止に貢献
LCA日本フォーラム表彰受賞製品：パリ協定に対応できる



特徴・強み

◆ ビジネスモデルとその特徴

現在、岡山県に新設工場を建設しており、2021 年夏の竣工を目指している。自社での原材料生産により、「Stone-Sheet」製品の品質・安定供給体制が可能となり、可燃処理ができる「Stone-Sheet」は、海洋プラスチックごみ問題にも対応が可能で、各界で注目されている。

◆ 強み・アピールポイント

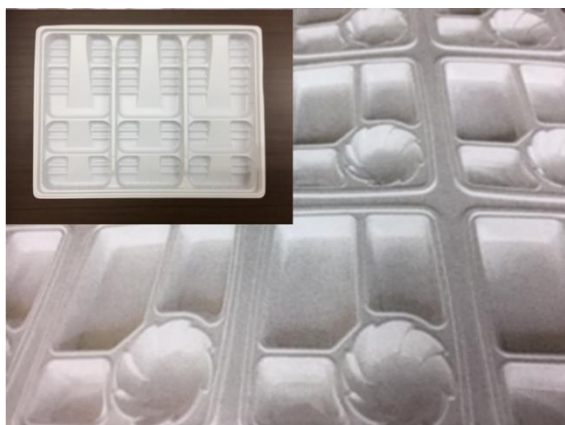
時代の変遷とともに地球環境に対する意識が高まっており、国内では 2050 年度の CO2 排出量ゼロを目指してプラスチック市場が縮小する見通しである。加えて、近年では海洋プラスチックごみ問題等、プラスチック市場を取り巻く環境はますます厳しくなっている。

「Stone-Sheet」は環境にやさしく、燃焼時の有毒ガスを抑える中和剤として利用することができるため、「環境と経済の両立」が可能となり、プラスチック市場に代わる新市場として期待されている。

なお、製品の品質表示は炭酸カルシウムであり、製品は可燃処理される。「Stone-Sheet」を利用した製品例としては、フィルム・シート資材に加え、容器・包装資材、各種袋類等がある。

2015 年、第 11 回 LCA 日本フォーラム表彰で環境にやさしい製品として奨励賞を受賞している。

【STONE-SHEET による製品例】



食品容器
大手コンビニ、外食チェーンとの取組



誘引紐
トマト農家との取組

将来展望

◆ 今後の事業展開

5年後、10年後の目標とする到達点やロールモデル

地球温暖化防止といった環境のキーワードが共感を呼び、産官学の重鎮が役員・顧問に参画しており、今後、国内だけでなく、世界の環境問題に貢献できる製品として、社会に供給することを目指している。

2020年6月5日の環境の日に、Calcium Carbonate Composite 協会（理事長 棚橋祐治氏）の設立をりそな銀行ビジネスプラザ大阪にてプレス発表。識別マークの普及、標準規格、EXP02025 への対応を目指している。

◆ 今後新たに開発したい商材・サービス

拡充したい販路（ターゲット層）

現在は大手百貨店、大手量販店との取引が中心であり、基本的には環境問題に取り組む企業からの引き合いにより製品開発を行っている。

EXP02025 では、海洋プラスチックごみゼロの万博を目指し、PLL（未来社会の実験場）を提言するなど、環境問題への取組が進む中、パリ協定で設定された 2030 年の削減目標の達成にも有用である「Stone-Sheet」各種製品は、企業にとって大きな魅力となっている。また、2050 年にはさらに二酸化炭素排出量をゼロとすることを目指し、製品開発を進めている。

PR 事項

◆ 提供サービスにおける PR 事項

海洋プラスチックごみ問題に対応できる環境素材として注目されており、国内はもとより世界規模での普及を目指している。原材料の国産炭酸カルシウムは高純度の食品添加剤に準ずるものを利用しており、不純物による製品品質不良を防いでいる。

燃焼時の有毒ガスを抑える中和剤として利用されるため、産業廃棄物としての費用が無く、「環境と経済の両立」が可能である。

社会貢献事業としては、2018 年 4 月 22 日より「Earth Day OSAKA」を主催。

2021 年は、環境省、経済産業省、大阪府、大阪市、岡山県、岡山県新見市、日本経済新聞社、日刊工業新聞社、毎日放送、りそな銀行、りそなアジアオセアニア財団、関西みらい銀行、池田泉州銀行、滋賀銀行に加え、大手企業の後援を得て、大阪商工会議所国際ホールで開催を予定している。

会社概要

設立：2009 年 8 月

資本金：109,100 千円

URL：<https://earth-create.net/>

主力サービス開始時期：2009 年 8 月